



コロナに負けない弾ける笑顔

12月11日 仁科認定こども園 にこにこ発表会

ふるさと応援寄付金十四億円に  
補正予算修正動議可決  
津波複合施設建設案否決  
一般質問

2~3

4~5

6~7

9~15

議会だより、定例会一般質問動画は、西伊豆町ホームページでも御覧になれます。



# ふるさと 応援寄付金

# 十四億円

開催期間	12月1日から12月2日まで
審議した案件	町長提出議案 10件 同意 1件 議員提出議案 1件
可決した主な議案	一般会計補正予算（第9号）、介護保険事業特別会計補正予算（第2号）、西伊豆町議会議員及び西伊豆町長における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について、専決処分承認（西伊豆町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例）など

## こんなことが、決まりました。

### 一般会計補正予算 （第9号）

（全員賛成）

補正額は7億376万4千円。

主な歳入は、ふるさと応援寄付金4億円と、ふるさと応援基金からの繰入金2億7847万8千円です。

主な歳出は、ふるさと振興費2億6562万6千円（返礼品、送料など）基金積立金4億円（寄付金を基金に積み立てる）などで、一般会計予算は93億4568万3千円になります。

### ふるさと応援寄付金 歳入4億円の収入増

問 4億円の増額で、特に12

月に業務量が増えるが、対応できるのか。

答 11月末で、すでに前年比1.4倍の寄付に対応しており、12月も担当課、業者が連携し、乗り越えます。

問 コロナ禍でどうして前年比1.4倍も集まるのか。

答 コロナ禍でお取り寄せが増えていること、宣伝を増やし西伊豆町の存在が知られたこと、ネットの申し込みのページが良いポジションを占めていることなどが増えた要因と考えます。

問 ふるさと寄付金の主な返礼品は。

答 3、4年前は感謝券が多かったのですが、現在は干物関係が一番多いです。

### 文教施設等整備にかかる

仮設道路工事費 300万

問 仮設道路だが文教施設建設後撤去せず本道路にならないか。

答 補正内容は、予定していた土が路盤材として不向きであるため購入土を使用するもので、最終的には仮設道路を撤去せず本道路として使う考えです。

### 松くい虫防除（町単）被害木

伐倒業務費 450万円

問 松くい虫防除は、伐倒以外の対策を考えているのか。

答 防虫アンプルを打つことについても、県の補助がありそうなので、その補助金を活用して管理していきたいと考えます。

# 見込み

◎本年度の、ふるさと応援寄付金は昨年度に比べ 1.4 倍に伸びています。

◎令和 3 年 3 月までには 14 億円の寄付が集まる見込みです。

◎寄付金から返礼品代、ネット手数料、送料、諸経費などを引いた、約 5 割の額を基金に積み立てながら、予算にも活用しています。

## 介護保険事業特別会計 補正予算 (第 2 号) (全員賛成)

補正は 243 万 4 千円の減額。  
町の介護予防・健康づくりに資する取組の重点実施等の取組の評価による保険者努力支援交付金 212 万 4 千円の収入と職員給与費繰入金 505 万 2 千円の減による相殺減額補正となります。

## 保険者努力支援交付金 212 万 4 千円

**問** 介護事業の評価を次年度にどのようにフィードバックしていくのか。

**答** 評価の仕方は、項目で細分化され配点の仕方も決まっていますので、やれることやれないことを峻別<sup>しんべつ</sup>してできることを重点的に改善して、評価を上げていきたいと考えます。

**問** 評価の配点はどのようなものか。

**答** 70 程度の指標があり、いろいろな介護予防の会への 65 歳以上の方の参加者数はどの程度かなどにより配点が決まり、総得点により交付金が決まります。

## 西伊豆町議会議員及び西伊豆町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例 (賛成：8 反対：1)

町村議会議員のなり手不足対策のため、選挙カー、ポスター、ビラの費用を公費で負担し、お金のかからない選挙、候補者間の機会均等を目的として令和 2 年 6 月に公職選挙法が改正されたのに伴い町は条例の制定をします。

**問** 選挙用公費は国・県から補助金はでるのか。

**答** 現時点では交付税、補助金はありません。

**問** 公費の支払いは、業者が町に請求するのと候補者が直接町に請求する、いずれの方法も認めることはできないか。

**答** あくまでも、町が業者に直接支払うとなっているので、その他の方法では公費負担は受けられません。

**問** ポスター・ビラのネット注文は公費の対象か。

**答** 県の選管は書面による契約行為がなければ認められないとのことでした。

**反対** 前回選挙の立候補者数で公費負担を試算すると、総額約 248 万円になる。

西伊豆町の経済は低迷しており、町税は年々減少して今後も減少が想定されるので、公費負担を受けず選挙を戦い、町の発展に尽くす気概のある人の立候補を望み、条例制定に反対。

**賛成** これまでは、選挙費を自費で負担していたが、公費で負担してくれることになれば、若い人も立候補しやすくなると考え賛成。

## 教育委員会委員の任命 (全員賛成)

前任者の辞職に伴い、影山やえみ氏を教育委員会委員に任命することに同意しました。



かげやま  
影山やえみ氏 (安良里在住)

## 第4回臨時会

令和2年10月12日

# 補正予算(第7号) 修正動議可決

一般会計補正予算(第7号)が上程され、審議の中で修正動議が出されました。

修正動議が可決されたため、その後、修正部分を除く原案の審議が行われました。

一般会計補正予算  
(第7号) 原案

防災拠点・消防団詰所整備工事3億800万円(旧消防署跡地に建設)や認定こども園用地購入費6600万円、住宅・店舗リフォーム等補助金300万円など総額4億3353万8千円を増額する案です。

### 防災拠点・消防団詰所整備

**問** 整備計画では、1階は消防車庫、2階は消防団詰所、3階は避難所、屋上は津波避難タワーとなるが、同一建物に避難所整備の理由は。

**答** 役場庁舎を避難場所として計画していましたが、津波に対する耐浪性の無い施設と判断され、予定していた避難者の受け入れ先として、津波避難タワーの機能を大きくする必要が生じました。

3階の避難所は、風水害の避難場所として利用できる機能を有しています。

**問** 建設には2年間で6億円の事業費だが、財政を長期的に見た場合の状況は。

**答** 財政シミュレーションを行い、ほぼ影響はないと考えています。

**問** 過疎債の借り入れを1億8000万円予定しているが、充当される確信はあるか。

**答** 国の決定を待つしかありませんので、100%充当されるということはありません。

### 認定こども園用地購入

**問** 建設用地として「先川地区」になった理由は。

**答** 統合小中学校と同一敷地内での建設では、園建設の盛土部分に6億5000万円程度の費用が掛かると判明しました。

経費削減のために津波浸水想定区域外の「先川地区」を計画しました。

**問** 建設用地費6600万円は金額が大きいため、不動産鑑定評価を行ったか。

**答** 行っていませんが、国土交通省が不動産取引価格情報を公表しており、参考にしています。

一般会計補正予算  
(第7号) 修正動議  
(賛成5：反対4)

### 【提案理由】

防災対策費の委託料800万円と工事請負費3億円を全額減額します。

この工事には6億円もの資金が使用され、かかりすぎではないかという意見が上がっています。

これからは、コロナを考えると収収も少なくなると思います。

税金は最小で最大の効果が出るように使用していただきたい。

園の用地購入費6600万円は拙速な考えはやめて、もう一度原案に立ち返り、少子化・コロナ対策などの諸条件を勘案して頂く意味を込めて、全額減額するものです。

### ＜質疑＞

**問** 園を先川に建設することで5億円の減額ができると町の提案があった。

高額になっても原案のとおりにすべきとの考えか。

**答** 盛土にお金が掛かる経費やいろいろな経費を削ったり、栗原の近くに持つと、いろいろな考えが

あると思い、事業費にとらわれないほうが良いと考え提案。

#### ＜討論＞

**原案に賛成** 老朽化の著しい消防団第4分団詰所の建て替えは、数年前から分団の要望で、旧西伊豆消防署跡地に建設することで進められてきた。

複合施設は、拠点となる役場庁舎に耐浪性がないことで、津波避難場所としての機能だけでなく、風水害を含めた避難所を併せ持つ施設建設が急務。

地域の方々の安心・安全のために速やかに建設すべきと考え賛成。

**原案に賛成** 園の用地購入は文教施設等整備委員会やPTA・保護者説明会など、長い時間をかけて先川案が出てきた。

先川に建設することで、園の開園計画が令和6年より早い時期になるのではないかと考える。

園児たちの安心・安全のために早急な執行が必要と考え賛成。

**修正動議に賛成** 財政状況を勘案すると、自主財源で町の税収入は年々減少、ふるさと納税が減少していく可能性もある。

園の建設地は、当初計画地より施設が離れているため、園児の送迎や緊急時の迎えなどの際、移動が発生

しデメリットが非常に多いとの声がある。

少子高齢化・人口減少が進んでいるので、隣接の松崎町と連絡会を実施するなどし、歳出の削減を図ることも大切と考え賛成。

**修正動議に賛成** 文教施設整備案の説明会では、事前に説明会などなく、その場で当局案を説明後、十分に理解する間もなくアンケートを取るやり方や、パブリックコメントなどを実施しないことは、住民のニーズや意見の聴取、理解や協力を得て事業を進めていくことにはならない。

総事業費を極力抑え、財政調整基金などは蓄えておかなければならないと考え賛成。

一般会計補正予算  
(第7号)

修正部分を除く原案

(賛成8人：反対1人)

希望者の多い住宅・店舗リフォーム等補助金300万円の追加など、総額5953万8千円を増額します。

安良里地区津波避難タワー及び防火水槽建設工事変更請負契約の締結  
(全員賛成)

工事の精算により、119万9千円を減額します。

変更契約額は、1億5060万1千円です。

築地橋長寿命化対策工事  
請負契約の締結  
(全員賛成)

施工業者 有限会社サクライ  
契約金額 8800万円

点検により補修が必要となった個所の補修・塗装などを行い、橋梁の機能回復をする工事です。

**問** 指名競争入札に地元業者は指名されているか。

**答** 指名しています。



住民の安心・安全の施設建設は！！

## 第5回臨時会

令和2年10月29日

一般会計補正予算  
(第8号)

(賛成4：反対5)

一般会計補正予算第7号で修正された防災拠点・消防団詰所の工事費を900万円減額し、総額で2億9900万円にする案が否決されました。

**問** 前回から、わずかな期間で再提案する理由は。

**答** 再検討した結果、費用対効果面でも当局案が良いという結論になり修正を加え、消防団の要望を確認したので提案しました。

**問** 900万円の減額箇所は。

**答** 1階トイレの削除、テーブルの価格を安価に見直す、敷地舗装の補強材の路盤改良分などを削減しました。

**問** 今回の複合施設建設を見送った場合、今後予定されている3基の津波避難タワー事業交付金に対する影響は。

**答** すでに国、県のほうに事業計画を提出しているので、影響はありません。

**問** 津波避難複合施設で、過疎債を3億5460万円見込むが、充当可能か。

**答** 津波関係では使えませんが、消防関係は該当します。施設面積按分で、過疎債

# 津波避難複合施設 建設予算を再度否決

見込み額を算出しました。

**問** 津波災害警戒区域（イエローゾーン）の指定を受けた場合、県の交付金、市町村振興協会の交付金は2000万円になるのでは。

**答** そのとおりですが、指定を先に捉えて住民の命を後にとはいかないので、金額の取りこぼしはあっても推進したいです。

**問** 消防団第4分団の第1、第2、第3、第4小隊と意見交換すると詰所の改修要望が寄せられている。

本当に消防団の総意なのか確認は。

**答** 各地区にあればいいというだけの意見ならそういうこともかもしれませんが、有事の時に3人集まらないと消防車両は出せませんが、1つにすれば出せる場合もあり、総合的に有益とされ要望があると考えます。

**問** 避難所は津波浸水想定区域外に建設すべきで、津波浸水想定区域内でも可能という根拠は。

**答** 避難所として建てるつもりはありません。

緊急避難場所として設定しており、避難所は別に必要になります。

**問** 住民の一番の心配点は、町の財源のことで、財政シミュレーションは。

**答** より精度の高いものにするための情報収集、分析を行っています。

現在の基金残高は64億円ですが、今後大規模事業があり残高は減りますが、補助金、交付金などを活用しながら年間償還金6億円を超えない範囲内で運用していきたいです。

**問** 地元業者への分離発注についての考えは。

**答** 入札に参加しやすい方向



施設の老朽化と住民防災、課題は山積です！！

で検討しています。

水道・電気関係と土木建設を分け、関わりやすい方法で進めています。

#### ≪討論≫

**反対** コロナ禍で厳しい財政状況が続くと予想される。

また、沢田地区は観光地「堂ヶ島」に隣接し、多くの事業者があり沢田蔵置所からの出動を望む声も多くある。

今は節約し、今後環境が変化したら事業を実施すべきと考え反対。

**賛成** 消防団詰所の建て替えは、数年前から消防団の要望による事業だが、改めて町の提案どおりと総意が確認された。

避難所確保は必要不可欠であり、今回の複合施設は、コロナによる不透明な今後の財政状況を勘案しても速やかに建設すべきと考え賛成。

**反対** 施政方針での考えが急に方向転換され、6億円での複合施設に即承認では、議会の存在意義からも疑問。

津波警戒地域での建設に対し、県が設けた新たな支援制度を受けずに進めるには、住民の賛同を得てからと考え反対。

**賛成** 複合施設と単独での建設の町負担は、7200万円の開きがある。

役場施設に耐浪性がなく仁科浜地区の避難場所として使えない。

住民のための津波避難施設と新たな消防団施設との複合施設の建設に賛成。

**反対** コロナ禍の中、6億円をかけて津波避難複合施設と消防団詰所を新築する必要はなく、消防団員の要望は沢田と仁科浜のポンプ蔵置所を建て替えてほしいというものだ。

津波避難場所は津波の到

達しない所に建設すべきで反対。

**賛成** 今回否決した場合、今後国・県の予算付けが困難になり複合施設建設も難しくなる。

老朽化した施設での消防活動は士気に影響し、非常時に避難できる災害避難場所建設は必要な施設と考え賛成。

**反対** 消防施設は安良里、田子地区のように津波浸水想定区域外に建設すべき。

避難所も法的根拠さえ示されず、11mの階段の昇降など、高齢者への配慮に欠ける計画だ。

建設予定地は津波浸水想定区域内のため、想定区域外に建設した第2分団の倍以上の建設費となり反対。

**賛成** 原案より900万円の減額を一定評価して賛成。

## 国・県に意見書を提出

ドクターヘリの安定・持続的運用の支援強化を求める意見書（全員賛成）

ドクターヘリは、50km圏内で15分以内に到達でき、正しく命の綱である。東部地区でも平成15年から運航を開始し、令和元年には全出動回数1196回の内、賀茂地区からは約25%の297件が搬送され、救命措置の恩恵をうけている。しかしながら、今後の運行経費や維持経費、医療従事者の確保など人的、経済的負担がおおきくなることが予想される。

ドクターヘリが引き続き多くの人命救助に貢献できるよう、安定・持続的運用の支援強化について強く要望する。（意見書からの要約）



ドクターヘリの支援強化を

# 議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤 豊	山本 智之	芹澤 孝	高橋 敬治	加藤 勇	山田 厚司	西島 繁樹	堤 和夫	山本 榮	増山 勇	議決 結果	
第4回臨時会	安良里地区津波避難タワー及び防火水槽建設工事変更請負契約の締結 [119万9000円を減額するもの]	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	道路メンテナンス国庫補助事業 築地橋長寿命化対策工事請負契約の締結 [契約金額8800万円]	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	一般会計補正予算(第7号)修正動議 [認定こども園用地関係、仁科浜津波避難複合施設関係予算の削除]	○	—	○	×	×	○	○	○	×	×	可決	
	一般会計補正予算(第7号)修正動議を除いた部分 [5953万8000円を増額するもの]	○	—	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	
第5回臨時会	一般会計補正予算(第8号) [2億9900万円を増額するもの]	×	—	×	○	○	×	×	×	○	○	否決	
12月定例会	議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定	○	—	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	
	町立学校設置条例の一部を改正する条例の一部を改正	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	静岡県市町総合事務組合理約の一部を変更する規約	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	一般会計補正予算(第9号) [7億376万4000円を増額するもの]	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	国民健康保険特別会計補正予算(第3号) [420万円を減額するもの]	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) [33万円を増額するもの]	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	介護保険事業特別会計補正予算(第2号) [243万3000円を減額するもの]	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	教育委員会委員の任命	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	専決処分の承認(職員の給与に関する条例の一部を改正)	○	—	○	○	○	×	×	○	○	○	承認	
	専決処分の承認(特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部を改正)	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
租税特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
ドクターヘリの安定・持続的運用の支援強化を求める意見書	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		

議長(山本智之)は採決に加わりません。

## 来期への立候補は

### (町長) 協働の町づくりを続けたい



ます やま いさむ  
増山 勇 議員

**質問** 来年4月の町長選に立候補する考えは。

**町長** 多くの成果が出ているものの、全てが道半ばであり、まいた種を枯らすことなく育てていかなければなりません。今後も町民と協働の町づくりを続けていきたいです。

しかし、新型コロナウイルスの第3波の猛威が心配される中では、その対応をしていかなければなりませんので、現在の職務を全うすることに全力を尽くしていきたいです。

**質問** これまでの4年間を振り返っての考えは。

**町長** 今期掲げた公約は、ほぼ達成できたと考えます。

特に住民の命を守る点では、避難場所整備（津波避難タワー）など成果を出すことが出来ました。

学校統合や斎場建設についても方向性を決め、着実に進めています。

**質問** 学校統合と複合施設の予算が、議会否決されてい

るが、今後の考えは。

**町長** 学校統合事業は、今ストップしています。保護者の意見を聞きながら進めていきたいですが、1～2年遅れるかもしれません。

複合施設は、国・県の補助金が当分なくなり、令和7年度以降になるかもしれません。

議会には、再度十分な説明を行ない、協議を進めていきたいです。

**質問** 町の財政は、大丈夫か。

**町長** 財政シミュレーションを常に行ない、現状では大丈夫です。

### 介護保険の引き下げは

#### 8期は引き下げ検討中

**質問** 介護保険の引き下げは。

**町長** 8期に向け、西伊豆町地域福祉検討協議会で協議中ですが引き下げが可能と考えます。

住民が取り組んでいる健康づくりなどの効果が出ているのではと考えます。

**質問** 学校給食の補助や出産祝い金の増額を。

**町長** いずれも必要と考えますが、ばらまきとの批判もあり、すぐには無理です。



町内2基目の津波避難タワー（安良里）



かとう いはむ  
加藤 勇 議員

## 木材利用による教室の整備は (町長) 木のぬくもりのメリットはあるが

**質問** 木材は建築物の部材として、柔らかで温かみのある感触を与えたり、室内の温度変化を緩和させ快適性を高めるなど、優れた性質がある。

成長期の子供たちが長い時間・年月を過ごす学校施設への木材利用は、豊かな環境づくりを高めるうえで、大きな期待が持てるものとする。

木材利用による教室の整備は。

**町長** 木材をふんだんに使うことで木のぬくもりなど大きなメリットがあります。

子供たちには良い環境で生活をしてもらいたいです。

町有林や県産材を使うことになれば、地産地消や林業の促進にもつながり、産業の活性化にも良い影響を与えたいと考えます。

建設には金額を抑えてとの要望もありますので、建設費が高くなることで認められない懸念があります。

**質問** 体育館は、大規模地震・津波が起きたときや風水害で被災後の広域避難所として必要な施設である。

避難所の非常用発電施設として、太陽光発電施設の必要性と整備は。

**町長** 非常用発電機能は必要ですので、コストバランスを考慮して検討します。

**質問** 体育館に併設して防災倉庫の整備は。

**町長** 校舎6階に倉庫を計画していますが、体育館は避難所として使用することを視野に入れており、備蓄品保管場所も考えます。

### 安良里浜川の修繕は

#### 県に相談中

**質問** おおせき 大堰の水叩きに、コンクリート部分が剥がれ大きな穴が開いている。

また、その上流部には河床が下がり、河川護岸と道路護岸併用の基礎部分が露出している。

護岸の決壊に繋がるので早急な修繕が必要では。

**町長** 対策は必要で、県の管理する河川ですので相談を行い、修繕に向けて進めています。



早急な安全対策を

## 健幸づくり給付金・使わないと消滅

(町長) 困窮していないなら構わないのでは



やま だ あつ し  
山 田 厚 司 議員

**質問** サンセットコインを継続、普及させる方策は。

**町長** 追加チャージが増えたうえに、マイナポイント事業などで利用額は更に伸び順調と判断しています。

来年度は健幸づくり給付金の実施、ボランティア活動などでのポイント付加も検討、活用したいです。

**質問** 健幸づくり給付金の給付、要綱の変更など、もう少し意見を聞いて進めては。

**町長** 事業に対する承認はいただいていると考えます。

給付作業での密や申請での手間を省くため、最善と考えて進めています。

**質問** 介護サービスを受けていない人への経済的負担軽減が目的の健幸づくり給付金だが、期限内に使わないと消滅するのは。

**町長** 支給目的はその通りですが、その人の価値観の中で、経済的に困窮していないならそれでも構わないのではないかと考えます。

**質問** 従前の口座入金なら期

限の制限もないので、経済振興策なら対象者に承諾をえてから推進すべきでは。

**町長** 現金であれば使い勝手はいいですが、おろせば使う訳で、それが紙幣かユービカの違いだけです。

余裕のある人は別にして、使うことが地域振興のためになると判断しています。

### 奨学金の返還支援は

#### 地方版総合戦略に位置付ける

**質問** 奨学金を活用した若者の地方定着の促進策への支援が改善された。

奨学金の肩代わりなどの支援制度導入は。

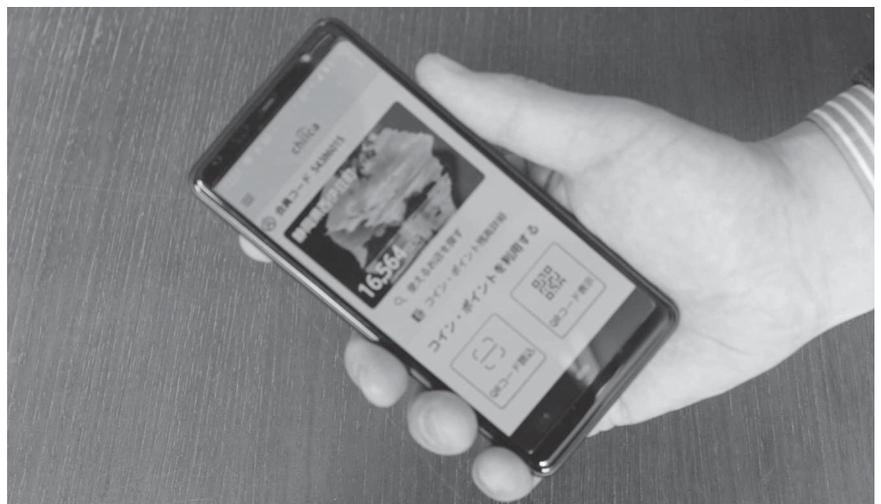
**町長** 地方版総合戦略に位置付ける必要があり、今後、総合戦略策定会議委員の意見を伺いながら、検討したいと考えます。

**質問** 介護、福祉分野など業種を限定した支援制度は。

**町長** 難しいです。

**質問** 介護職に就職で支援金が出る制度が創設されるが、これに絡めて町の支援は。

**町長** 国は新制度の推進もですが、介護の現場は過酷であり、待遇改善を先にお願ひしたいです。



使い勝手の広がるサンセットコインアプリ！！



たか はし けい じ  
高橋 敬治 議員

## 今後の財政運営の見通しは (町長) 大型事業を実施しても問題ない

**質問** 今後、大型事業が予定されているが、財政運営の見通しは。

**町長** 事業完了の令和7年度末の基金（貯金）残高は30億円前後を見込んでおり、地方債（借金）も令和6年度63億円をピークに減っていきます。年間償還額のピークは令和11年度で、現在と同額の6億円程度と考えており、財政運営上問題ないと考えています。

**質問** \*「将来負担比率」は、現在は充当可能財源が将来負担額を上回っているため数値は出ないが、大型事業実施でどう変化するのか。

**町長** 令和7年度末は2.4%程度になるが、県平均22.5%や早期健全化基準350%を大きく下回り健全です。

**質問** 財政情報は、出来る限り見やすく、親しみやすく“可視化”して町民に理解してもらいたい。

**町長** 開示はしてありますが、もう少し工夫して、分かりやすく示したいです。

### 新たな残土処分場は

#### 面積・処分量など検討中

**質問** 鷹ノ巣は立地条件が悪く、林道が痛んで緊急時の国道迂回路になっていない。新たな処分場を急ぐべきだ。

**町長** 1年でも早く終了し林道を整備したいです。新たな候補地については、面積・処分量などを検討中です。

### 地域おこし協力隊支援は

#### 出来る限りサポートする

**質問** 宇久須地区で地域おこし協力隊員が「有畜循環型農業」を目指し活動を始めたが行政支援が必要では。

**町長** 借用した農地の整備費用などを負担していますが、養鶏場は臭い問題もあり、慎重に進めています。

\*将来負担比率とは「財政健全化判断比率」の一つで、標準財政規模に対し、自治体が抱える公営企業や特別会計、組合、職員の退職手当等、将来の負担の度合いを示します。西伊豆町は将来負担額6010百万円に対し、充当可能財源等が9795百万円のため、比率はマイナス表示です。

○令和元年度決算 将来の財政負担 (単位百万円)

	地方債残	支出予定	積立基金残	実質負担
西伊豆町	4,709	40	6,450	△1,701
東伊豆町	5,056	237	1,013	4,280
河津町	2,902	567	1,727	1,742
南伊豆町	5,083	80	1,868	3,295
松崎町	3,260	637	2,058	1,838

資料：静岡県市町行財政課「普通会計決算の状況」より抜粋

注：実質負担は借金よりも貯金が多い場合△で表します。

# 基金の取崩が多額では (町長) 必要な資金です



つみ  
堤

ゆたか  
豊 議員

**質問** 大規模事業の概算事業費と財源計画（令和2～7年度の6年間）が、令和2年6月現在（案）として、第1常任委員会の事務調査で財政シミュレーションとして示された。

文教施設以外の事業計画は、斎場建設、津波避難施設、その他の整備事業など総額約27億3千万円を計画している。

基金の取崩が多額と思うが、町の考えは。

**町長** 取崩額約35億9千万円は多額ですが、必要な資金です。

**質問** 文教施設等整備事業は、総事業費約61億1千万円を計画している。

基金の取崩と、合併特例債20億円の財源を考えているが、起債は全額認められるのか。

**町長** 申請どおり認められると考えています。

過疎債の充当額が増加すれば、特例債が減少する可能性はあります。

## 町の経済悪化を懸念

### 必要なら対策を検討する

**質問** 合併特例債の内、70%が普通交付税によって措置されると思うが、残りの30%の町負担の返済分について問題はないか。

**町長** 問題はないと考えています。

**質問** 学校統合は決まっているが、町の経済悪化が懸念される中、町民の生活や経済の再生に向けた取組みを優先する考えは。

**町長** 経済状況を心配して対

策を行ってきました。

今後も必要であるならば、検討していきます。

**質問** 文教施設事業を進めるにあたり、既存施設の利用など、歳出を厳しく精査して経費削減を検討すべきと考える。

次世代の町民に大きな負担をかけない建設事業を望むが、町長の考えは。

**町長** 金額のみで判断はしていません。

学校建設のみでなく、津波避難施設としての活用も考えています。



文教施設として一体となった整備



つみ 堤 かず お 和 夫 議員

## 町長の重点公約は

### (町長) 介護保険料は審議中

**質問** 町長の重点公約のうち、介護保険料の値下げについては、松崎町は16800円/年も安いとチラシで謳<sup>うた</sup>っていたが、少しは松崎町に近づけたのか。

**町長** 現在、西伊豆町地域福祉検討協議会で審議しているため、金額は確定していませんが、松崎町も確定していないので、近づいたのかどうかは分かりません。

**質問** 今、認定こども園を高台ではなくて、先川地区に移転する案が急に示された。なぜ先川地区なのか。

**町長** 先川案は急にではなく今年3月の全員協議会で話しました。津波浸水深からまぬがれる土地、園庭・園舎を立てられる広さを確保できる場所を探した結果、先川地区になりました。

**質問** 観光客が来なくなる町、もう一度来ようと思える町づくりをしますとあるが、どのような施策をしたか。

**町長** メディアでの露出の増加、SNSなどテレビを見

ない世代にも情報が行き渡るよう、発信力を上げて対応しています。

#### PCR検査の受診は

#### 詳細は賀茂保健所で

**質問** 自費でもいいから、だ液PCR検査を受診したい町民もいる。

その場合は何処に問い合わせすればいいのか。

**町長** 賀茂管内でもできる医療機関はあります。

詳細は賀茂保健所に問い合わせをお願いします。

**質問** 西伊豆健育会病院への

支援は松崎町と共同で、約2200万円の支援が実現した。

新型コロナウイルスの第3波が発生し、経営が悪化した場合、支援するのか。

**町長** 地方自治体が新型コロナウイルス対策に出費をすることは限界があります。

今後の支援は、国・県にお願いしたいと考えます。

**質問** 町内の診療所への支援は検討したのか。

**町長** 診療所の支援は検討しましたが、歯科医院は検討していません。

支援の要望が町に来ていません。



西伊豆地区にも第2次救急病院の存続を

# 介護保険料千円の値下げは

## (町長) そこまでは値下げできません



せり ざわ 孝 議員  
たかし 孝 議員

**質問** 介護保険の第1号被保険者数を推測し、各交付金支援金、保険料収納率を勘案して、介護の総事業費の予算を実際の事業費に近づけ試算したが、第8期（令和3年度～5年度）の第1号被保険者の介護保険料基準月額が1000円の引き下げが可能ではないのか。

**町長** 数字上は可能であると考えますが、第6期（平成27年度～29年度まで）では想定外（途中で保険料値上げ）のことがありましたので値下げはしますが、そこまでは値下げしません。

爆弾を抱えるような値下げはできないので安全な金額の値下げで8期を向かえたいです。

### 基金積立金を使えないのか

当然使う前提です

**質問** 何か想定外のことが起きた時には介護給付費準備基金積立金を使えば良いのではないのか。

**町長** 基金積立金は当然、使うことを前提で介護保険料の金額を計算しています。

議員が言うような大幅な値下げまではできませんが、可能な限りの値下げを考えています。

6期のように期間途中で保険料の変更がないように保険料設定を行いたいと考えています。

### 一人親世帯の軽減措置は

難しいと考えます

**質問** 一人親世帯は、全世帯が所得は十分とは思えない。

当町の国民健康保険税における第2号被保険者は総所得が200万円とすると、介護納付金分は5万2410円で大きな負担となるが、一人親世帯の優遇措置がない。

こどもが就学終了まで一人親に対して介護納付金分の軽減措置はできないか。

**町長** 一人親家庭の支援としての給付事業であれば、検討する余地があるかもしれませんが、国民健康保険事業を県内合同で実施している状況ですので、町独自に介護納付金分を軽減するのは難しいと考えます。



一人親世帯の介護保険料は軽減措置が必要！！

# 議会の動き

## 第1 常任委員会報告

10月27日に健康福祉課の所管事務調査を実施しました。

### 健康福祉課

#### 介護保険料（介護保険係）

介護認定者数は、平成28年6月の750名をピークに減少傾向となり令和2年6月現在652名となっています。

要介護（要支援）認定者数は、第7期（平成30年度から令和2年度）の計画値に比較して下がっています。

要因は、「死亡による自然減」と「健幸づくり事業」の効果が出ていることも考えられます。

介護保険計画は、認定者数・給付費ともに第7期では実績値が計画値を下回っています。

第8期（令和3年から5年）では7期の基準月額7000円と同額から若干下回ることが想定されますが、2025年には団塊の世代が75歳以上になるので、これらを見据えた設定となります。

#### 生きがいデイサービス（福祉係）

介護認定者を除く60歳以上の独居又は高齢者世帯で、家に閉じこもりがちな人にレクリエーションや創作活動、入浴の場の提供を行っています。

##### 体験型デイサービス

家に閉じこもりがちな、介護が必要のない高齢者に対し日常動作訓練・趣味活動「介護予防」サービスの提供を行っています。

登録者は191名となっています。

デイサービスを活用して、たくさんの方と接し、明るく健康な日々を送りましょう。

#### 健幸マイレージ（健康係）

住民の方が健康に関心を持ち行動することで、自身が健康に過ごすことができるとともに、医療費や介護保険料の抑制、住民の健康寿命の延伸につながることを目的としています。

日々の運動や食事、ボランティアなどの社会参加に対しポイントが付与され、一定のポイント達成者に「ふじのくに健康いきいきカード」やその他特典が贈呈されます。

ポイントを貯め、特典が受けられることを楽しみながら、自身の健康づくりに役立てましょう。

#### 特定健診（医療保険係）

新型コロナウイルス感染症対策のため、通常の実施ができず、受診できない方がありました。

受診できなかった方への対策として「西伊豆健育会病院」に協力していただき、令和2年2月26日までの平日に「無料」で受診ができます。

問い合わせ 健康福祉課医療保険係（52-1116）



第1 常任委員長 加藤 勇

## 斎場建設候補地の検討調査業務報告

### 第1・第2 常任委員会合同報告

10月6日 斎場建設候補地の地質調査依頼先である静岡コンサルタント(株)から結果について報告を受けました。

**課題①** 大規模盛土造成地であるため地震時に滑動崩落のおそれがあるか。

**対応策** ボーリング調査等による地質調査結果から地震の盛土の安定性を検証した。

**結果** 安定解析により、計画地は地震時の滑動崩落のおそれがない計算結果となった。(所定の安全率を確保)

**課題②** 造成地盤の変状が現在も進行中か。

**対応策** 盛土の地盤の動態観測を実施して変状(すべりや沈下)が進行中か確認する。

**結果** 盛土の変状は一般的に降雨に連動して変状する事例が多い。

今年度観測期間中(6月から7月)にかけて、



新斎場建設候補地

雨量が多かったが、すべりによる変状や明瞭な地盤の沈下は確認できなかった。

観測結果が4か月間の結果から変状は収束しているように思える。

しかし、経年的な変状状況から今後も沈下変状が進行する可能性も考えられる。

よって、今後も変状の計測は実施していくことが望ましい。

構造物の基礎工構造を沈下に対応した構造とすることで建設は可能と考えられる。なお、舗装面やのり面の維持や管理・修繕も随時行う必要がある。

**課題③** 旧テニスコート内の大陥没の原因究明

**対応策** 大陥没面の掘削調査(ボーリングによる掘削)により土質を確認し原因を究明する。

**結果** 陥没箇所で行ったボーリング調査結果により、陥没の要因となりえる盛土材や混入物(有機物や焼却灰等)は認められなかった。

既存調査で提案されていたように範囲全体の床堀を行い立体的な観察を行い、直接的に原因を排除できる可能性もある。

原因が排除できない場合においても、課題②と同様に構造物の基礎工構造物沈下に対応した構造とすることで建設は可能と考える。

新斎場建設については、早期建設を期待する声が多いですが、町民の声を調整していくことが必要になると思います。

第2 常任委員長 堤 豊

議会だより第62号の訂正とお詫び 関係者および関係団体の皆様にお詫び申し上げます。

(3ページ9月定例会と7ページ第3回臨時会)

2つ目の後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)→介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

(4ページ津波防災ステーション工事) 岩城商会株式会社→株式会社岩城商会

(8ページ監査委員からの提言) 高橋敬治→高橋敬治/欠損処分は、調停で～→欠損処分は、調定で

(19ページ債券運用について) 年間7070万円→年間707万円

(19ページ新型コロナウイルス感染症対策～)

○事業収入減少による法人住民税→○事業収入減少による法人町民税

# まら自慢の一品

西伊豆町の誇る自慢品をご紹介します。今回は「きんぎょそう」です。

## きんぎょそう

淡いピンクにレモンイエロー、オフホワイトと優しい色調、形が金魚に見えることから名づけたこの花は、昭和22年から田子で栽培が始まりました。海岸線の温暖な気候が適し、仁科や宇久須でも栽培され、昭和30年代には露地栽培、その後ハウス栽培に代わり、品種改良を経て、昭和50年代



前半では JA 伊豆太陽によると年間2億円も出荷したとか。盛期の3月彼岸頃には一箱200本詰めを毎朝大型トラックいっぱい積んで関東に出荷しました。当時は町内40軒以上の<sup>かき</sup>花卉農家が栽培し、農林大臣賞など品評会での入選も数知れず。西伊豆町が生産高日本一を標榜していました。特徴は独特の愛らしさとまっすぐに伸びた茎。用途は主にセレモニー、菊と並んで重宝され、最近ではフラワーアレンジメントの需要も多くなりました。今は生産農家も減りましたが、この時期暖かいハウスの中で、金魚のヒレをフリフリ、春の訪れを予感させてくれます。



## 町内探訪 37

### 紫野菜で町おこし



さかいこうじ  
酒井宏治さん  
(宇久須在住)



借用農地

今年4月に地域おこし協力隊として、宇久須神田に住んで農業に取り組んでいる酒井宏治さんにお話を伺いました。

**質問** 出身地は。

**酒井さん** 名古屋です。

**質問** 応募のきっかけは。

**酒井さん** 料理人として働い

ている中で、農業を目指すことを考え、特に抗酸化作用があるアントシアニン豊富な紫野菜を栽培したいと思いました。

**質問** 現況はどうですか。

**酒井さん** コロナ禍で地域の皆さんとの交流が進まず、悪戦苦闘の日々です。

今は土壌づくりに取り組んでいます。

**質問** 今後の活動などは。

**酒井さん** 将来的には、養鶏(平飼い)を地域住民に理解してもらい、有畜循環型農業を目指しています。

【取材 山田厚司・増山勇】

令和3年1月15日 発行  
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会  
発行 静岡県西伊豆町議会  
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1  
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、お気軽にお聞かせください。TEL: 52-1962